十三日夕刊
# 磐城時報
福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷人　岡田弘成
印刷所　福島縣石城郡平町紺屋町十四　加納活版所
發行所　福島縣石城郡平町紺屋町十四　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五拾錢
△日刊（日曜、祭日）休刊

## 小名濱商港修築の炭礦側寄附問題
### 十六日頃に正式契約

小名濱商港修築に對する炭礦側の寄附問題は常磐礦業會と縣の最後的會見によつて十五萬圓寄附のことは本きまりとなり、炭礦側割當も磐城炭礦十萬圓、入山採炭三萬圓、古河鑛業二萬圓と大体内定し寄附に伴なふ條件問題も今度は土肥土木課長も出席したので双方隔意なく意見を交換した結果岩壁無償使用問題において縣としては西側岸壁三千噸級汽船一隻繫留を使用せしめる腹だつたが、これを東側岸壁三千噸汽船二隻繫留に讓歩しその他の條件においては大した意見の食違ひもなかつたのでこの方も話しは支障なくまとまつたので、いよいよ十六日頃までに炭礦側としては正式機關を經た決定となし縣もこのときは知事か内務部長が上京して正式契約を締結することになつた。

## 石城郡内農會長會

石城郡各町村農會長會議は十三日午前十時から平町團体事務所に開き昭和八年度の豫算を説明した後事業方針を打合せた。

## 東京から平に移された慰籍料請求訴訟
### 三輪辨護士係りて開廷

石城郡内郷村大字綴元湯本町入山炭礦鐵工場見習山本幸一（二〇）は去る昭和四年作業中工場の正面板の下敷となり不具者となつたので昭和七年春辯護士三輪壽莊氏を代理人とし慰藉料二千五百圓の請求訴訟を東京地方裁判所に提起中であつたが、判事が石城郡飯野村出身元縣議山崎吉平氏の令息山崎一郎氏である關係で右訴訟が地元平支部に移送され第一回公判を十日平支部で開廷したが、三輪辯護士來平勞動關係者の傍聽人で雜踏を呈した。來る二十日續行公判を開く筈である。

## 三陸地方に小學生據金

石城郡小名濱小學校では三陸地方罹災民義捐金を贈るべく協議の結果小學生一錢、補習生三錢教員十錢宛醵金し取纏めて贈ることになつた。

## 深作博士平町で講演

平十三日會では十三日午後七時からマルトモホールで文學博士深作安文氏の個人主義より人格主義へと題する講演會を開く。

## 北部理髪組合總會優良組員を表彰

四倉署管内理髪業及び結髪樣組合の總會は十二日午前十時より四倉署武道場に開催、組合長以下各役員の改選を行つた結果左の如く決定した。

組合長榮花梅七、副組合長古川彌右衛門、會計佐藤慶次郎幹事　山下定助、代議員菅原庄次郎　久之濱町）第一部長（大浦）若松武太郎、第二部長（久之濱）菅原庄次郎、結髪部々長鈴木サハ

終つて優良組員

猪狩正雄（四倉）　菅原庄次郎（久之濱）　若松武太郎（大浦）　水谷スエ（四倉）

の各氏を表彰した。

## 菊地校長の奏任待遇祝賀會

去る三月一日付を以て奏任官待遇となつた四倉小學校長菊地正一氏の祝賀會は十二日午後五時より新町磐城女子職業學校に於て開催したが出席者二百余名で盛會であつた。

## 老年連の卓球大會

石城郡下第四回OB卓球大會は十二日午前十時半から常磐銀行樓上で擧行したが、參加三十名で左の如く川角豊太郎氏優勝した。

▲准々決勝よりの成績

A組三十才以上

川角　8—0　山田
星　0—3　大村

B組四十才以上

名尾　3—0　寺山
内村　3—2　丹野

准決勝

川角　3—1　大村
名尾　3—1　内村

決勝

川角（常銀）3—2　名尾（中磐）

## 浪花節語りに化けた前科五犯の泥棒
### きのふ田町で捕はる

十二日午前十一時頃平町田町地内で藝妓屋を廻り金品を強要してゐる擧動不審の男を平署員が發見平署に連行して取調べた處同人は鹿兒島市山下町五番地浪花節雲井水月事山本正國（五八）と自稱してゐたが追窮した處茨城縣東茨城郡鯉淵村生れ加藤東四二と言ひ窃盗前科五犯あり餘罪がある見込みで取調中である。

## ▲小松崎君凱旋

四倉町仲町小松崎好吉氏は水戸工兵隊から昨年滿洲事變に出征したが十二日午前十一時三十分四倉に凱旋した。

## 平窪村で婦人講話會

石城郡平窪小學校では從來學校家庭の聯絡の一策として父兄懇話會、母姉會等を催して來たがいつも集合が惡く不結果に終つたのを遺憾とし今年は舊正月の閑期を利用し各部落に進出して特に婦人の教育にあたるべく企劃し青年團員の後援の下に既に十數回に亘り婦人講話會を開き井上校長、鮫島首席訓導、中村訓導が主として講師の任にあたり各部落共豫想以上の好成績を擧げたが、最近は各部落の主婦達が自發的に講話會の開催を學校に申出る有樣である。

## 愛を割かれ悲戀の家出

石城郡小川村字江田像義助三男由次郎（二三）は同村の村上ゆみ（一九）との結婚を兩親に反對されたのを悲觀し七日家出したので家人から平署へ捜索願ひを出した。

## 木炭組合は二十日解散

濱通り産業團体の雄たる濱三郡木炭同業組合は木炭縣營檢査の實施で解消の止むなき悲運に逢着し本月廿日頃總會を開いて解散を決議する筈だが、組合では檢査を繫に讓る以上は他方面に更生の途を求めるべく過般來幹部間で熟議の結果昨年より實施の商業組合法により濱三郡木炭商業組合なる移出業販賣組合を設けることに大体決定した、右に關し濱三郡木炭同業組合の法所理事は語る。

木炭商業組合は東京に一組合があるのみで全國にまだ設けられてゐるところがないが好成績をあげてゐると聞いてゐる、産業組合式のもの昨年來設けた移出産組合を改稱登記し合法的なものとし販賣上本格的に活動せしめるわけである。從つて組合員は濱三郡における主なる移出商約三十名位に止まるはずである。

## △北滿から△
### 武装移民團通信
甲高三郎

籔から棒で誠に故郷の皆樣に恥かしき次第ですが、我等武裝移民團の現在までの活動振りを御知らせ致したいと思ひます。

昨年十月中旬北滿佳木斯に到着以來片隅なりとも永遠の樂土と化す可く三十才前後の豫後備兵が昔しの現役兵と變つて警備勤務、巡察、討伐に出動全く四ヶ月余は多忙を極めつゝ今日に至りました!!

佳木斯城内は一里半、四方で支那人約五萬余、日本人朝鮮人含む）百人弱と言つて居ます。

屯墾隊の勤務場所は市街端れの西門に小哨として長以下廿四名、下士哨が第一より第三まで一ヶ所長以下七名、其の他毎夕六時より三里程離れし部落まで斥候として派遣されてあります。

佳木斯の兵力は第拾師團の歩兵六十三聯の二ヶ中隊と我等一ヶ大隊、外吉林軍正規兵約五百名居ます。其れで今迄匪賊に當市街を夜襲されし事四回、現役兵は不幸にして十余名の犧牲者を出して居ますが我等屯墾兵は「ズルイ」が其れとも現役二ヶ年の卒業生が一人も犧牲が出ず至て頑健に努力して居ます。一月より二月迄第十師團が總出動にて北滿を徹頭徹尾討伐せし爲め今は全く治安が維持され今や馬匪賊は我々大和健兒の手に平和と寶庫の鍵を渡さんとして居ます。愈々屯墾隊は今春より初期の目的を達成す可く先月十一日紀元節を卜して先發隊百五十名建築班農耕地永豊鎮部落に向ひ出發致しました佳木斯より永豊鎮迄距離約十八里荷物の運搬は途中に監視部隊を置き馬車三十四臺で一臺に一人宛監視兵がついて荷物を運搬して居ます。現在屯墾隊には歸順せし兵匪より發せし馬約二百七八十頭、羊二十頭居ます。作業所として木工所、火工所、靴工所、農産化工所があり、農産化工所は「パン、ーウフ」を製造して居ます。其れで其のパンが又特別の一名屯墾パンで「高粱粉六、小麥四」の割で製造し「サトウ」は絶對使いません。縱二寸厚さ八分程の物を一食三枚です。當底内地の皆樣は「ノドメト」が通らない事と思へます。パン食が週間に三回。常食として「粟四米六」の割合で一日四合三勺です。其れでも隊員は内地に居る時以上榮養が良く大元氣で住み好き所として毎日七時半に禮拜榮彌を三唱して其日其日の仕事に眞面目に服務して居ます

## 產婆看護婦 生募徒集

願書　四月八日迄（可成至急）
修業年限　產婆看護科を通じ一年

平町一丁目
石城產科婦看護婦學校
校長　高崎千代
電話三五七番

## 通學服大賣出し

新學期も近づいて參りました。
坊ちやま。孃ちやまの可愛らしい
通學服を色々取揃いて御座います。

◆男兒用
小倉服……80ヨリ
〃特製……1.90ヨリ
紺サージ……3.60ヨリ

◆女兒用
紺サージセーラー服3.60ヨリ
綿セルセーラー……1.30ヨリ

防水マントも種々取揃へて
御座います。

なかや洋服店　平三　電203

## 通學生用品

ランドセル
學生ボーシ
防水マント

●御入學ノ[illegible]備●
ガ出來マシ[illegible]。……
弊店選定ノ自信アル
製品ヲ山積シテ皆樣ヲ
オ待シテ居リマス。…

ツルヤ
電一四〇

## 生徒募集

復興第五年
校舍增築完成
內容充實
基礎益鞏固

第一學年　壹百名
第二學年　若干名
入學資格　小學校卒業以上
出願期日　四月四日迄
新學期開始　四月四日

私立磐城青年學校
福島縣平町城山
創立明治四十年
◇規則書申込次第進呈◇

## 平看護婦會

會長　清野キヨ
平町字南町【電話三〇七番】
◎看護婦派出の需めに應じます

## 生徒募集

光輝ある歷史
堅實なる學風

磐城佑賢學舍
中等科（中學程度）
女子部（高女程度）
入學願書四月四日迄

平町城山
（電話九三番）

## 文部大臣認可 平陽女學校

附設　平陽家政女學校
平町　電話四四五番

一、八年度募集人員

| | | | |
|---|---|---|---|
| 本科 | （修業二ヶ年） | 五十名 | 授業料一、五〇 |
| 師範科 | （同上） | 三十名 | 一、五〇 |
| 技藝高等科 | （同上） | 五十名 | 一、三〇 |
| 專攻科 | （同一ヶ年） | 二十名 | 一、五〇 |
| 技藝普通科 | （同二ヶ年） | 五十名 | 五〇 |
| 專修科 | （同一ヶ年以上） | 五十名 | 一、〇〇 |

卒業生ノ特典

本校本科、師範科卒業生ハ專間學校入學資格ガ得ラレマス
本校卒業生ハ小學校及補習學校裁縫教員トシテ多數採用サレマス。

入學手續

志願者ハ入學願書ニ履歷書ヲ添ヘ三月三十一日迄ニ本校宛提出下サイ。入學願書ノ受付順ニ依リ入學ヲ許可シマス。
入學式ハ四月[illegible]日午前十時擧行

## 上田外科醫院

電話一二九番

## 木村病院

番

## 藤沼醫院

電話五〇七番

## 胃腸 梅毒

內科　專門　十二指腸虫病
淋病婦人病　專門　膚皮病

松村胃性腸病科醫院
平町南町【電話一〇七番】

## 大藏省允許

盡無城磐
宋共存共
實堅意誠
斷然群ヲ拔ク

## 消費節約

品質本位　家庭染料
みやま染
平町一丁目
特約店　大平や藥店
電四六二番

## 10日 機設 檢査 新

体溫計の檢査日です
お宅の体溫計は？
◎正確な体溫計を御使用下さい
◎毎月十日の檢査日御利用下さい

度量衡計量器　指定販賣人　西村屋藥局
電三番

## ▲產婆看護婦 ▲生徒募集

▲今、入學好時期
御希望ノ方ハ至急御申込ミヲ
▲新學期ハ四月八日ヨリ

▲平南町
電話三〇七番
◎平產婆看護婦學校
校長　清野キヨ

## 千家表流茶道教授　松遊庵梅雨

古流生花教授　松玉齊織田理德
平町字南町　電話五三二番